

大牟田市 × 九州国立博物館



三池の刀が切り開く大牟田の未来

国宝太刀「銘 光世作」（公益財団法人前田育徳会蔵）は室町時代以来の天下五剣の一振りであり、「大典太」と呼ばれて世上名高い名刀です。その作者である初代・三池典太光世は、平安時代に筑後国三池、すなわち現在の太宰府市で刀鍛冶にいそしんだ名工です。初代・三池典太光世以来、鎌倉～南北朝～室町時代にわたって、幾多の名刀を生み出してきた刀剣のふるさとである大牟田市には、今も4人の刀匠が住まい、活躍しています。

千年以上もの悠久の歴史の中で受け継がれてきた我が国の刀剣鍛錬の技を、いま一度見つめ直し、次々と生み出される鉄の芸術品、日本刀が切り開く、郷土の未来の姿を思い描いていきます。

公開講座「刀匠と語る三池刀の魅力」

- ▶とき 10月30日(日) 13時30分開演
- ▶ところ 九州国立博物館 1階ミュージアムホール
- ▶内容
第1部…講演(40分)「三池典太光世と日本刀の歴史」
講師 世界遺産・文化財室長 山田 元樹
第2部…トークイベント(50分)「刀匠と語る三池刀の魅力」
パネラー 國天刀匠×坂口 優美
- ▶定員 先着270人(申込不要)
- ▶入場料 無料



【同時開催】

三池の刀剣パネル展

- ▶とき 10月25日(火)～30日(日)
- ▶ところ 九州国立博物館 1階エントランス北側

おおむたまるごとマルシェ

- ▶とき 10月7日(金)～30日(日)
- ▶ところ 九州国立博物館 1階ミュージアムショップ

■主催・問合せ 大牟田市広報課 ☎0944-41-2505

■共催 九州国立博物館



このまちだから、できること
おおむたPRキャンペーン